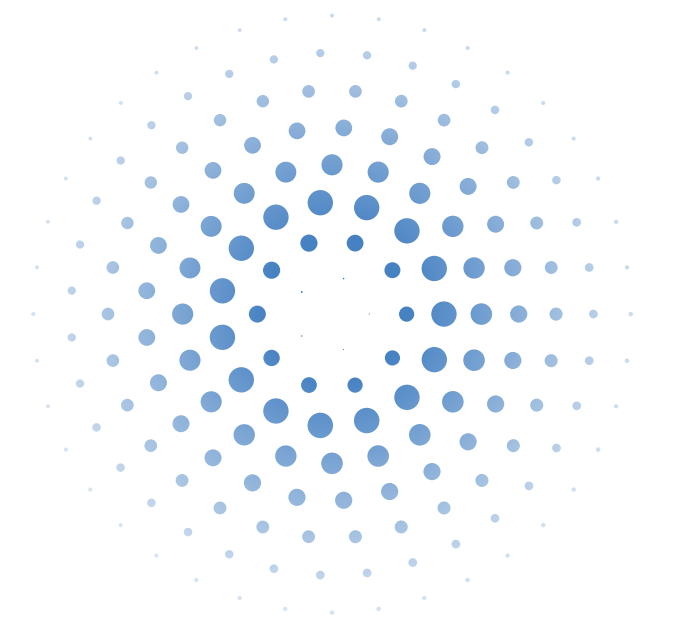


気持ち×マークで示す 私も地域の「お助けサポーター」



チーム名：甘味
氏名：山口・諸岡・古里

令和6年度
政策アイデアコンテスト

私たちの政策を導く3つの視点

01

高齢化社会
どう生きる？

人口減少
老年人口
独居世帯の増加

02

身近な「舞台」
を利活用！

公民館事業の意味
×
地域コミュニティの復興

03

若者よ
地元志向も
いいじゃない！

青年期主体による
多世代交流機会の
創出

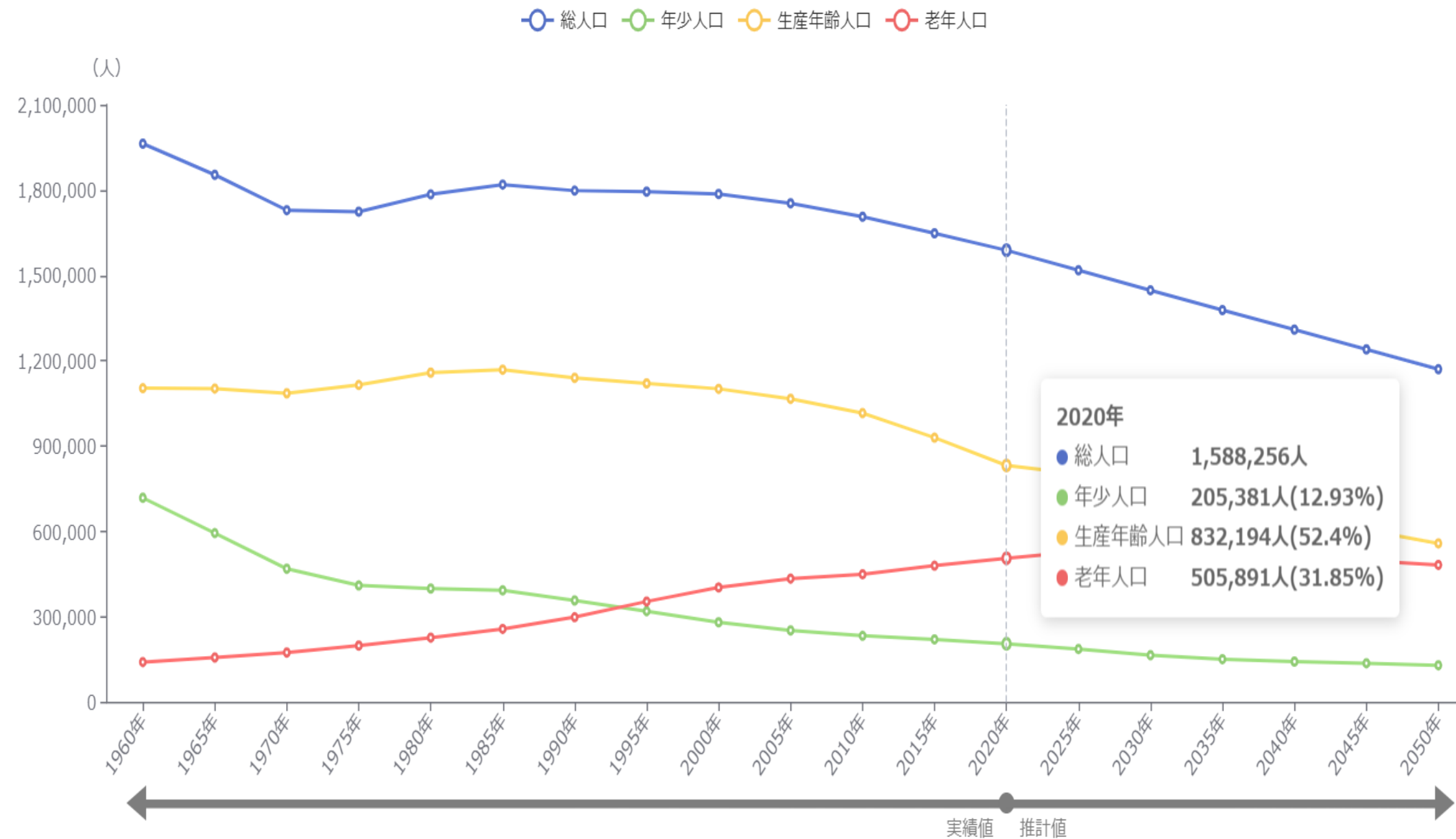


01 高齢化社会をどう生きる？



(過去から未来を予測)

人口推移グラフ
鹿児島県



☑ 1965年～現在まで
慢性的な**老年人口**の増加



☑ 2005年～現在まで
総人口と生産年齢人口
の低下

このままいくと...

既存の高齢者層

+

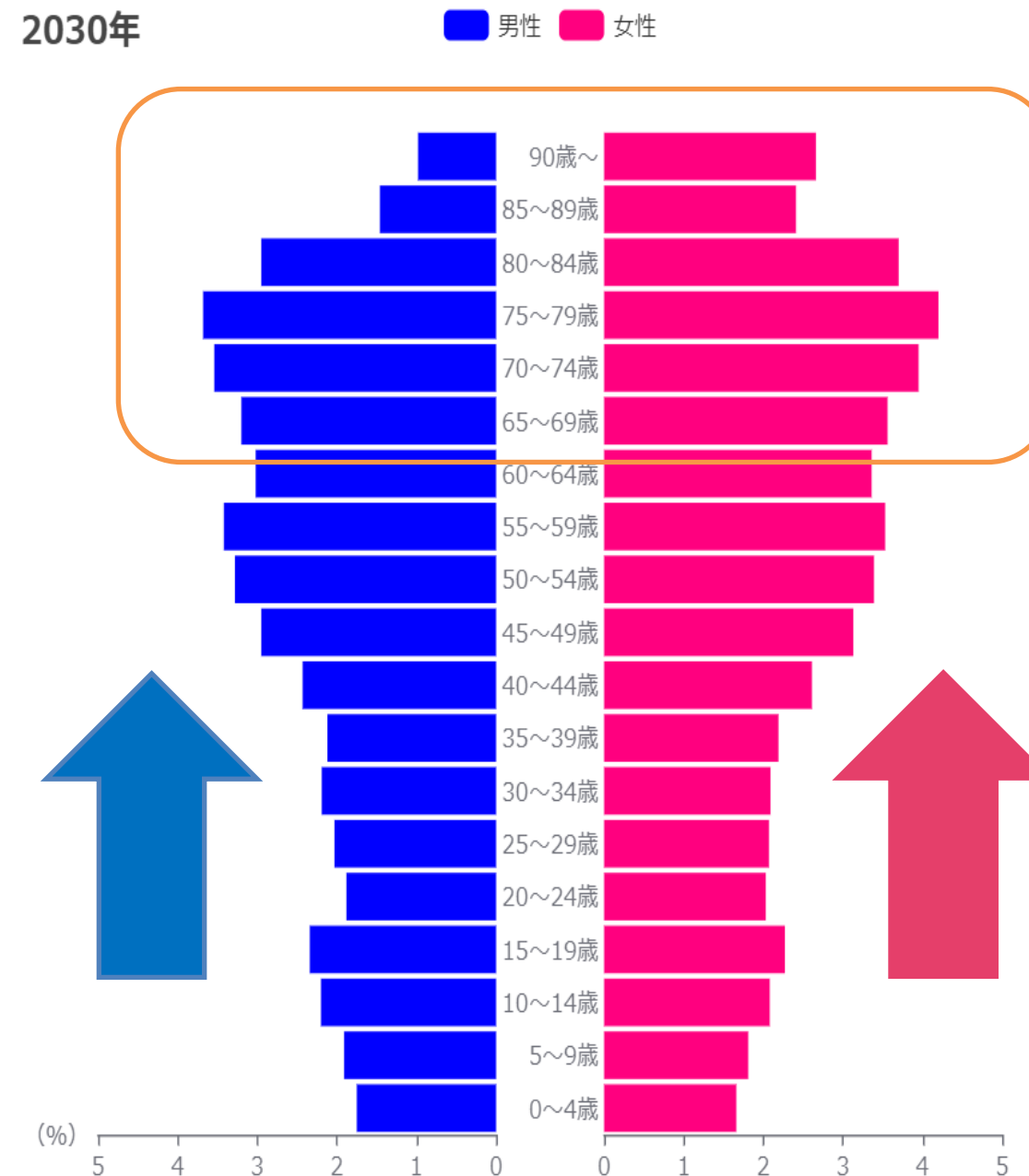
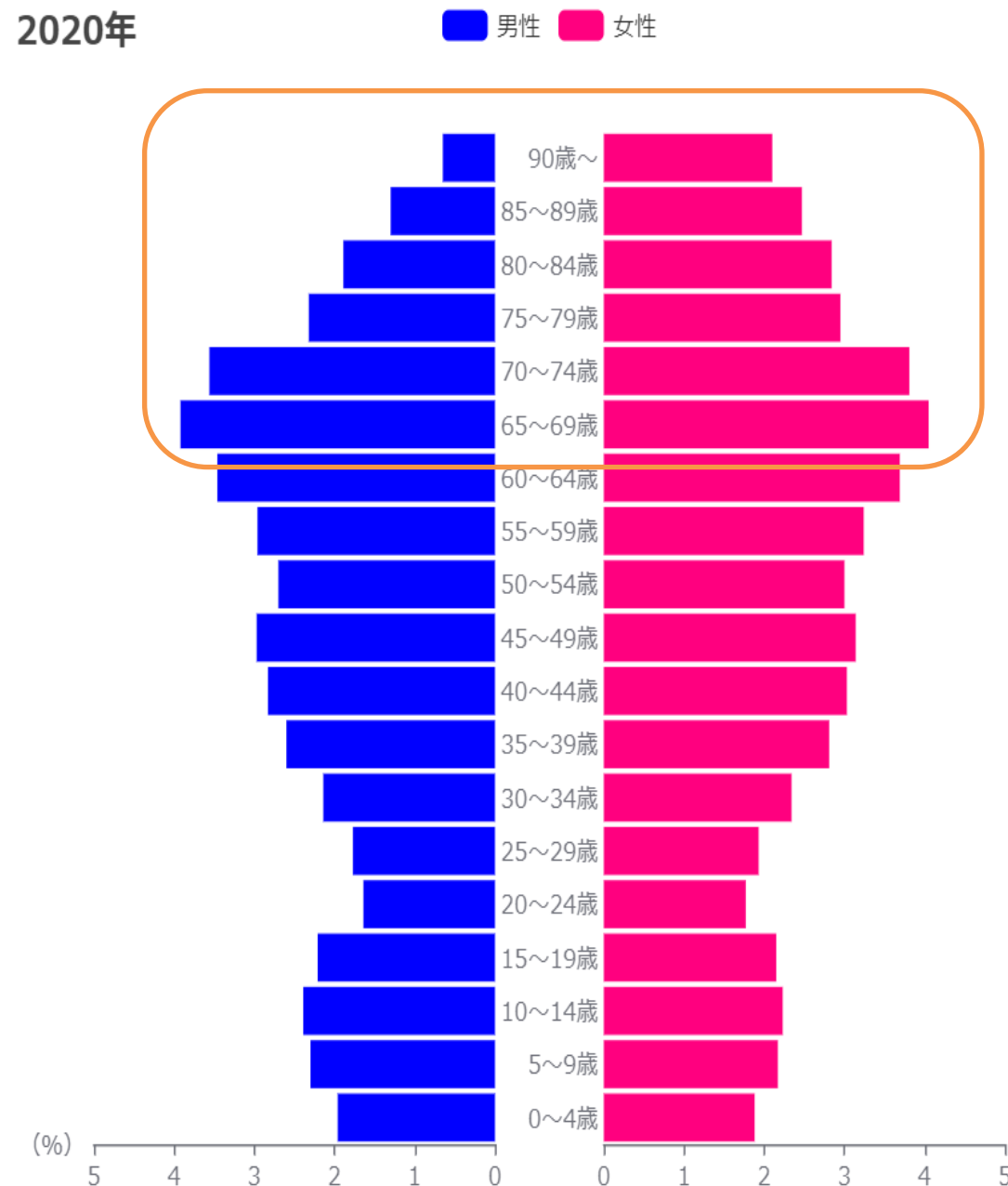
現役世代の
前期高齢者参入

その数
UP!!

01 高齢化社会をどう生きる？



(人口ピラミッドから現在をみる)



老年人口 (65歳以上) : 505,891人 (31.85%)
 生産年齢人口 (15歳~64歳) : 832,194人 (52.4%)
 年少人口 (0歳~14歳) : 205,381人 (12.93%)

老年人口 (65歳以上) : 525,379人 (36.29%)
 生産年齢人口 (15歳~64歳) : 757,249人 (52.3%)
 年少人口 (0歳~14歳) : 165,164人 (11.41%)

【2020年時点】

65歳以上は全体の31.86%!
 &
65歳~79歳間で20.61%
 (男性&女性)
 老年人口の約半数を占める

【2030年では?】

65歳以上は全体の36.29%!
2020年比4.43%上昇
 &
65歳~79歳間で22.13%
 (男性&女性)

つまみ...
 前頁の予想通り
 人口押し上げの
 「コマ型へ」と突入! ?

01 高齢化社会をどう生きる？



(老年人口の増加予想と鹿児島県の社会人口増減)

【若年層と稼働年齢層の転出・転入は？】

**20歳未満～20歳台の
若年層**

合計3,935人の転出超過



**進学・就職を機に東京・福岡等
の都市圏に流失**

**30歳台～50歳台の
稼働年齢層**

合計773人の転入超過

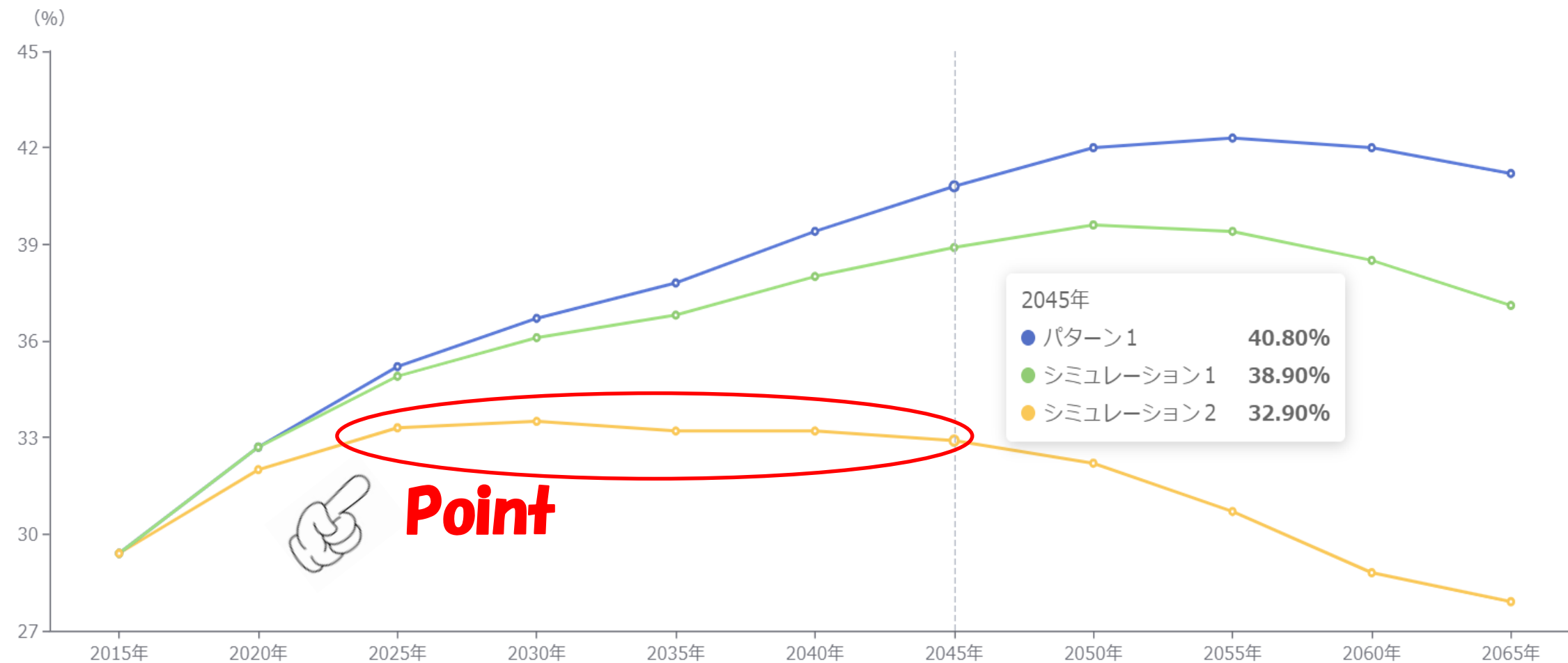


**この世代にきて転入数 > 転出
だがその数は少ない…**

(すべて2023年)

老年人口比率推移
鹿児島県

○ パターン1 ○ シミュレーション1 ○ シミュレーション2



合計特殊出生率が人口を長期的に保てる基準(2.1)に到達&人口の移動が各県均等(=0)になったとしても、今後5~20年は上昇か横ばい状態である！

01 高齢化社会をどう生きる？

(国との比較で考える)

本市の高齢者等の状況と国・県との比較

区分		平成27年	令和2年	令和4年
市	総人口(人)	599,814	593,128	589,676
	65歳以上(人)	145,300	158,804	162,782
	65~74歳(人)	73,645	80,515	81,996
	75歳以上(人)	71,655	78,289	80,786
	高齢化率(%)	24.7	28.3	29.5
国	高齢化率(%)	26.6	28.6	29.0
県	高齢化率(%)	29.3	32.5	33.7

(注) 1 平成27年、令和2年は国勢調査、令和4年は県統計課「鹿児島県の推計人口」

2 平成27年、令和2年の高齢化率は不詳補完値による

【高齢化率とは？】

65歳以上人口を「高齢者人口」とし、その数が総人口に対して占める割合のことを指す。

WHO(世界保健機関)と国連の定義によれば、上記数値が21%を越える社会を「超高齢化社会」と呼ぶ。

国として超高齢化社会を迎えたのは2007年。

鹿児島においては、市の29.5%はもとより、県では33.7%！！

医療面の充実を踏まえ、高齢化率の上昇は今後も続く予想される…

01 高齢化社会をどう生きる？

(鹿児島県HPより)

(独居世帯数)

令和2年国勢調査 市町村別高齢者の人口及び一人暮らし高齢者の人口

市町村名	高齢者（65歳以上）の人口			一人暮らし65歳以上人口 (単独世帯で暮らす者)		
	総数	男	女	総数	男	女
県計	505,891	216,615	289,276	119,020	37,553	81,467
市部計	437,779	186,933	250,846	101,213	31,154	70,059
郡部計	68,112	29,682	38,430	17,807	6,399	11,408
鹿児島市	158,804	67,201	91,603	35,464	10,151	25,313
鹿屋市	29,928	12,960	16,968	7,235	2,229	5,006
枕崎市	8,192	3,436	4,756	2,099	585	1,514
阿久根市	8,050	3,393	4,657	1,855	626	1,229
出水市	17,372	7,393	9,979	3,928	1,182	2,746
指宿市	15,411	6,656	8,755	3,703	1,201	2,502

高齢人口の絶対数が増える
派生的に発生する懸念も…

☑ 高齢者のひとり暮らし世帯

増加

○考え得る**問題**は？

- ① 生きがいの**喪失**
- ② 体力・コミュニケーション能力の**低下**
- ③ 社会的接点の**希薄化**

○**現状**はどうか？

鹿児島市内でも
独居世帯を対象にした
食事会の実施
→接点創出&健康寿命UP
のために策を講じている地区
もある…

私たちのもやもや

1

高齢化社会の到来と独居世帯の増加の理解

この社会構造をふまえた1STEP！

高齢者の方を「お客様化」するわけではない施策の展開の必要性

2

学生が自分から主体性をもって取り組めるアイデアを出したい！

境遇やお金の有無に囚われずに皆が参画できる策を、**学生側**が現状の地域コミュニティに参入して場を「**協同**」でつくってみたい…



地域のだれもが利用できる社会参画の場といえは「**自治公民館**」
公民館から**地域全体に還元できる政策**がなにかないだろうか？

なぜ今自治公民館に注目するのか？

①自治公民館とは？

行政が管理している「地区公民館」に対して、住民同士で支えあい、運営している町内会や自治会、老人クラブにおける活動拠点となっている

鹿児島市内での活用例：

あいご会の諸活動 お達者クラブでの活用 よかよか体操など

現状、自治公民館を舞台として活動している層は圧倒的に高齢の方が多い。そこに、**学生や若年層が意欲的&真摯な姿勢**で地域活性化に関するアイデアを提言できれば、地区にとっても、新しいスパイスとなる！

+ α 提案政策において、行政との良好な支援体制関係を築くことが、地域にとっても自治公民館の理想的な活用法なのではないだろうか？

なぜ今自治公民館に注目するのか？

鹿児島市 地域コミュニティの現状と課題

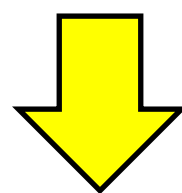
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/shimin/shiminbunka/chiikishinko/mac hizukuri/Kocho/chonakai/documents/201144152030.pdf>

②「自治公民館」を舞台に策をおこなうことで 市の示す地域コミュニティ課題とマッチする！

市の考える地域課題：「福祉」「安全」
住民の意向をふまえ、**高齢者の介護面を補える策が有効か！？**

さらに…

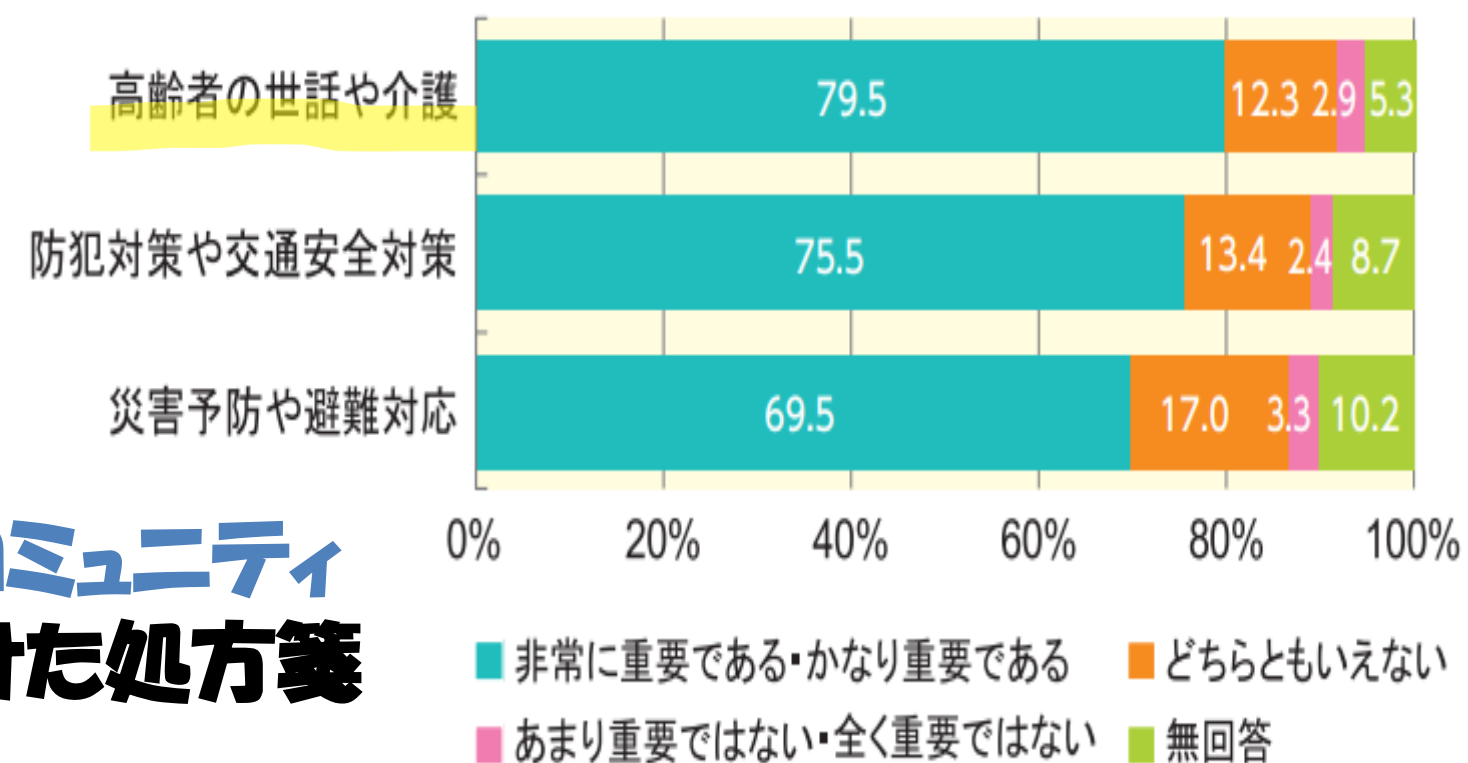
自治公民館運営を支える地域コミュニティ組織の
構成員の高齢化も叫ばれる



前頁で示したように、提案施策を通して若年層が既存のコミュニティ
に対し「協同的」に参入することで、現状課題の解消に向けた処方箋
にもないうる！

<居住地域における生活面での主な課題について>

総回答数=1,256



これらを踏まえて策に織り込みたいこと

1 高齢化社会を念頭に！ & 現状分析の視点

- ・独居世帯の増加など複合的問題にもアプローチできるような参加者が「お客様化」しない策
- ・市の課題にもある「介護」の観点も重点的に盛り込んでみたい！！

2 地域に点在する自治公民館を利用してみよう

- ・多額のお金を出さずとも「多 & 他世代交流」創出の場は身近なところにある
- ・あえて地域で展開することで“明日の生きがい”みつけてみよう！

3 青年期 & 成人期層を活動の主体に！

- ・みんな普段は学校や勤労、身の回りのことではいっぱいいっぱい
→肩の力が抜ける & 地域還元の感覚が持てる政策はないか？

政策アイデア

気持ち×マークで示す
私も地域の「お助けサポーター」

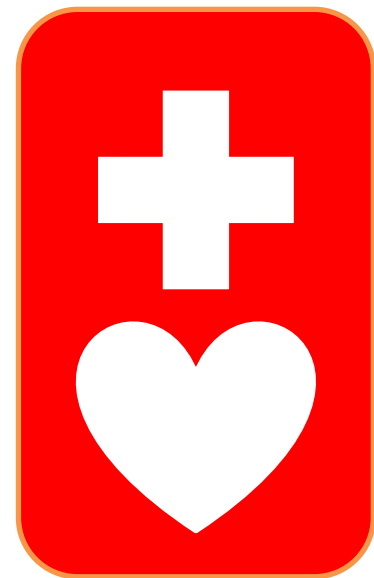


政策内容

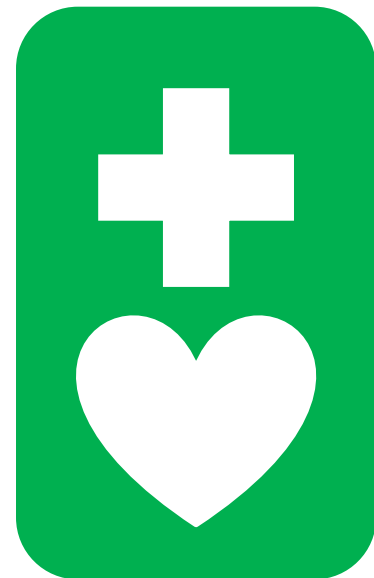
- ・各地の自治公民館で**福祉・介護関連事業**展開
- ・履修状況に合わせて、各年代Verの**お助け認証マーク**を配布
→携帯可能なサイズに
- ・介護面はもちろん、街中での「助けたい！」の意思表示として活用

各項目	内容
日程と時間	各月第2・4土曜日
参加対象	地域住民
費用	1個人：500円 地域ふれあい交流助成事業 町内会活動活性化補助金の利用
実施内容	上記福祉・介護面の重点的事業
履修成果	マークの配布・携帯&貢献心の醸成

インスパイアされた素敵な発想



ヘルスマーク



逆ヘルスマーク

〇ヘルスマーク

2012年に東京都が作成

外見からは分からなくても、持病や障害などの理由により援助や手助け、配慮を必要とする人々がサポートを受けやすくすることを目的としてつくられた

〇逆ヘルスマーク

2017年 当時小学生だった女子児童が母親との会話をきっかけに「協力が必要な時は声をかけてほしい」という意図を周囲に伝えるためのこのマークを授業でデザイン
このアイデアは静岡県にも持ち掛けられ、県議会本会議で実用化に向けた前向きな検討もなされた

原案にリスペクトをもって

各年代にあわせた「かごしまデザイン」を交付書・マークに織り込もう！

マーク交付までの流れ

01

実施公民館の選定

☑ 第1のSTEP

市が募集

長期休暇中に**大学生**が
自治公民館関係者 & 町内
会長に丁寧な企画説明

☑ 鹿児島市市民局市民文
化部地域づくり推進課HP
における**活動概要掲載**
(参加者募集 & 政策内容)

02

活動の周知活動

☑ 各公民館校区内の
小中学校へアポどい

☑ 市政広報誌内での
PR活動を依頼

☑ 大学内ボランティア
団体との連携関係構
築

03

政策実施

☑ 次頁以降で示す活
動を参加者に経験し
てもらう

☑ 学習・勤労形態を
考慮し**厳格な交付
条件は設けない**

04

交付

☑ 各講座を一定数修了
した人に対し、**マークを
贈呈**
(デザインは年齢別)

☑ まずは身近な出先に
おいて、段階的に携帯し
てもらう

実施内容

○普通救命 | 講習

心肺蘇生法やAEDの使用法を学ぶ。心停止により倒れた人や、出血した人に町中で出会ってもなかなか救命行動をとることができない人が多数であるのが現状。

万一来に備え、応急手当の方法を公民館を舞台に普及していく。高齢の方も、救助側として参加してもらおう。

この講習は「**連携**」が必須となるため、住民同士のコミュニケーションに期待。

提携委託先: 鹿児島市 消防局 救急課

○基礎的な介助スキル教室

介護初心者の方でも取り組める基礎的な技術を、レクチャーしてもらおう。

その際、主導者となるのは当該地域で暮らす**介護職経験者**を想定。

(場合によっては鹿児島県社会福祉協議会 **介護実習・普及センター**に申請)

例: 第1回テーマ「立ち上がり&起き上がり」など焦点を絞って実施。高齢の方は、自身の意向によって**介助者or被介助者の選択を可能にする!**

地区別で古武術介護の視点を織り込んでも、**地域色が出ておもしろいかも!?**

実施内容②

第9期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画素案より作成

単位：人	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認知症高齢者数	21,080	21,561	21,816	21,882
65歳以上人口	159,917	158,804	161,306	162,782

鹿児島市の要支援・要介護認定者における認知症高齢者は年々増加！
国の予想：令和7年には65歳以上の**5人に1人**が認知症高齢者かも！？

- 1 認知症高齢者数は、介護保険の要支援・要介護認定者における日常生活自立度Ⅱ以上の数
- 2 65歳以上人口は、令和2年は国勢調査、その他の年は県統計課「鹿児島県の推計人口」

○認知症サポーター養成講座の展開

今日の社会的背景を踏まえて、「**1人をみんなで見守っていくため**」の土壌づくりを！

内容としては、認知症に関する基礎知識から支援者として何ができるのか？など、**受講者にとっても主体的な学習体系**が確立されるように努める。

小学生以上であれば受講可能という点も魅力であり、**地域における人材育成の視点**も含んでいる。

協力団体：鹿児島市長寿あんしん相談センター本部

各項目	内容
参加対象	地域住民 (特に独居世帯の方)
費用	無料
講師	養成講座資格所持者を招集
備考	小学生以上から参加可

高齢者・若者・現役世代の実際の声

気軽に声を掛けられる人が
街中にいると**ありがたい!**
また、自分もまだまだ
元気なので、講座を受けて
助ける側にもなりたい!



70代女性

困っている高齢者に声を
かけていいか分からない時
もあるので気軽に声をかけ
る・かけられるような
関係性になりたい!



20代男性

介護職経験を活かして、
介助スキル教室の
主導者として
参加してみたい!
社会の役に立ちたい!



50代女性

+ α マークのオリジナルデザイン

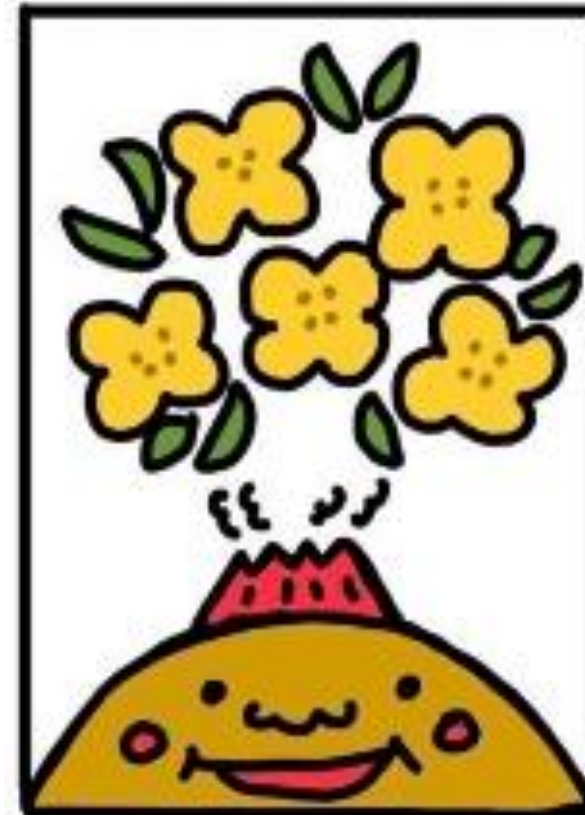
鹿児島市広報戦略室
キャラクター使用手続き申請

1 小学生～高校生
ガーベラ Ver



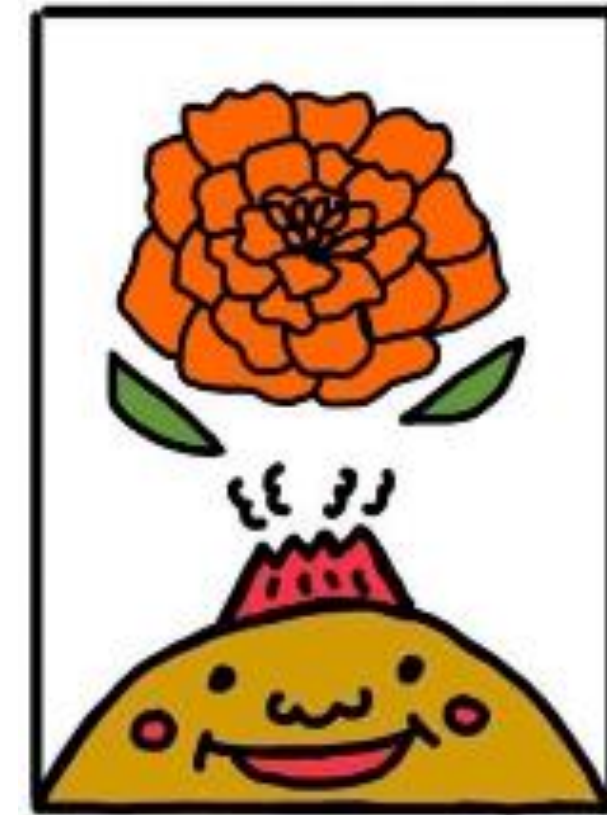
○花言葉: 希望
○Point
フレッシュ&ポジティブ

2 18歳～64歳
菜の花 Ver



○花言葉: 幸せ 元気
○Point
世代へのメッセージ

3 65歳～
マリーゴールド Ver



○花言葉: 健康
○Point
映え&落ち着き

展開場所の例～現状活動が活発である自治公民館～



①下花棚公民館

鹿児島県 鹿児島市川上町 2125-1

使用例:フレイル予防 健康に関する各種講義



②七社公民館

鹿児島県鹿児島市吉野町 7832

使用例:女性会活動 あいご会での七夕活動

今後の展望

メリット

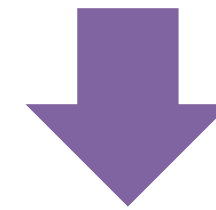
街なかでの視覚的情報が加わる

声のかけやすさUP

福祉関係の基礎スキルはもちろん、
小さな手助けの意思表示となる！！

今後の課題

市民におけるカードの知名度が低い
ため、この施策の本来の意図が果た
されない



導入後の2次的影響を含め検討が必要

＋α

鹿児島県・市、鹿屋市、姶良市の計4つの担当部局に問い合わせ

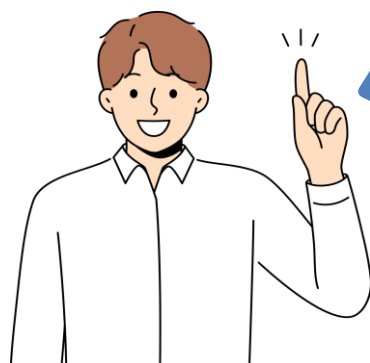
→姶良市以外は逆ヘルプマークの存在を認知

前向きに検討しつつ、自治体別の実施は難しい(マーク認識に差が生じる)現状などか
ら、今のところは逆ヘルプマークの実施&予定はないとのこと…

総括～私たちが伝えたいこと～

① 大学生が施策のスタートとなる意味

学生側：幼少期以降疎遠にないがちな地域組織との**再結合**
各地区：青年層発信の施策により、地区への新たな刺激&児童～高齢者
まで、地域コミュニティにおける**新規参入者の発掘**！



② 活動の「主体」は誰！？

活動の入口をつくる「**場の創出者**」は**大学生**！

OPoint

各自治公民館での、政策展開における**主役は参加者 & 多世代まきこみ**
地域はあなたを待っています！

参考文献

[https://news.radiko.jp/article/station/FMJ/62637/#:~:text=](https://news.radiko.jp/article/station/FMJ/62637/#:~:text=radikoニュース)

radikoニュース

いま話題の「逆ヘルプマーク」とは？ 困っている人を助ける意思表示に

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/kenkofukushi/chouju/ikigaishien/kenko/fukushi/choju/ninchi/koza.html>

鹿児島市HP 「認知症サポーター養成講座」のご案内

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/kenkofukushi/chouju/ikigaishien/documents/soann050821.pdf>

第9期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画素案

<https://www.kaken-shakyo.jp/pages/124/>

鹿児島県社会福祉協議会HP 介護実習・普及センター講座



Thank
You

